



印刷所
香川自治会広報委員会
印刷所 (有) スエカネ印刷

自治会館管理人の

山口武廣さんが退任

昭和51年から今日まで、20年間の長きにわたって、香川自治会館管理人として、尽力された山口武廣さんが、一身上の都合により、3月31日で退任することになりました。本日に苦勞さまでした。いろいろありがとうございました。次に山口さんのご挨拶を掲載致します。

私たちは、この度、三月末をもって、管理人の仕事、退任することになりました。思えばこの二十二年間は、いつの間にか過ぎ去ったような気が致します。この間、役員をはじめ、会員その他多くの皆さんの励ましにより今日まで無事に勤めを果たすことができました。



退任される山口さんご夫妻

で答申する運びとなりました。一、は現在の自治会館管理人の山口さんご夫妻が高齢のため、平成九年三月三十一日をもって退職したい旨の申し出があり、「次年度からの管理人の応募及び人選について」でした。

自治会長が労働基準法にそぐわない旨の指摘を受けたこともあり、委員会は近隣の自治会館の使用状況を調査したところ、いずれも「午後九時まで」となっており、特に次年度からは、女性の管理人ということも考慮に入れて、「午後六時から九時まで」とすることとして「香川自治会館使用規則」

しましたが、しかし、問題がないわけではありません。特に一、の管理人の給与の問題ですが、これも自治会長が労働基準法にそぐわない指摘を受けております。そうかといって、限られた予算で簡単に値上げはできません。現在自治会館管理費と会館使用料はやつと、とんとんにこぎつた状況であり、人件費は自治会の一般会計からの支出となっている状態です。しかし、近隣の会館の管理人の給与も調査いたしました。自治会より低い水準のところも、二、三あります。

最低三日分
六、地震発生時の役割分担と行動計画の作成
七、総合防災訓練・地域防災訓練への参加
茅ヶ崎市も、東海地震の「地震防災対策強化地域」に含まれており、又、神奈川県西部地震も、いつ発生するか、わからない状態です。災害は、いつ起きるかわかりませんので、いつ起きても、だいたいようぶなように、日頃会員の皆様も、備えだけはしておいて下さい。

「広報かがわ」、又自治会の「回覧」を利用しましたが、思った程反応がありませんでした。それでも二組のご夫婦の方々と面接いたしました。本日も後日お断りを受けてしまいました。本年になり「二月」面接いたしました「久保み子」さんは、非常に明るく活発な方とお見受けいたしましたので推せんすることにいたしました。どうか皆さんで温かくはぐくんであげて戴きたいと願っております。

「三」は「現在の管理人山口氏夫妻の長年(二十年)の功績に対して」どのように表わすかの諮問でした。これは非常に難しく、ましてや自治会には退職金に対する内規などありません。しかし、長年真面目にしっかりと管理していただいた重みがあります。種々検討した結果、

いづれにいたしましても、自治会の歴代の執行部の方々は何十年も限られた予算で努力し、頑張っていたに違いない状況のなかで、この問題の解消は自分お預けということでしょうか。

香子連に感謝状
2月7日(金)、茅ヶ崎市民文化会館小ホールで、香川の北、原西、中通り、間門、間門西の五つの子ども会が、廃品回収を行って、ゴミの減量化に努めたということで市から感謝状と記念品をいただきました。

またグループなど、会館の利用者も年毎に多くなり、せわしい仕事の中にも、公私ともども親しく接することができ、親しみが増して、楽しく勤めさせていただきましたことに対して、厚くお礼を申し上げます。

「二」は自治会館の夜間使用について「午後六時から九時まで」としたいの諮問でした。現在は「午後十時まで」となっておりますが、

自治会館運営委員会
委員長 松永 昭

静岡県防災センター視察

消防団正・副分団長が研修

消防委員長 新 倉 豊

茅ヶ崎市消防団正副分団長研修で、静岡県地震防災センターを、視察して来ました。会員の皆様の防災対策に役立つのではないかと、報告させて頂きます。

東海地域では今、地震が発生しても不思議ではないという認識を常にもち、「自らの命は、自ら守る」の防災の原点に立って、地震対策が積極的に行われています。

静岡県では、昭和五十一年八月に発表されて以来、地震防災体制の整備に取り組み、地震対策事業による安全な地域づくりを進め、又、各地域に自主防災組織を結成し、地震防災訓練を繰り返し行

わが家が地震に耐えられるかどうかを知る。

一、わが家の耐震診断
地震対策でまず必要なことは

二、家具の転倒・落下防止
タンスや、食器戸棚が倒れてケガをしないように。

三、火災を出さない対策
① 火を使う器具設備の点検整備
② 可燃性の危険物の保管に注意
③ 火を使う器具周辺の整理整頓
④ 消火器や消火用水の準備
⑤ 消火訓練の実施

四、門柱・ブロック塀の対策
危険なものには補強及び修理
五、食料・飲料水の備蓄、非常持出品の準備
食料→7日分程度
飲料水→1人につき1日3ℓ

五、食料・飲料水の備蓄、非常持出品の準備
食料→7日分程度
飲料水→1人につき1日3ℓ

現在各子ども会では、会員を募集しております。入会をお待ちしております。

香子連会長 田村まゆみ
北子ども会代表
香川一四四四一四
TEL 53-334八九

毎月27日は交番の日

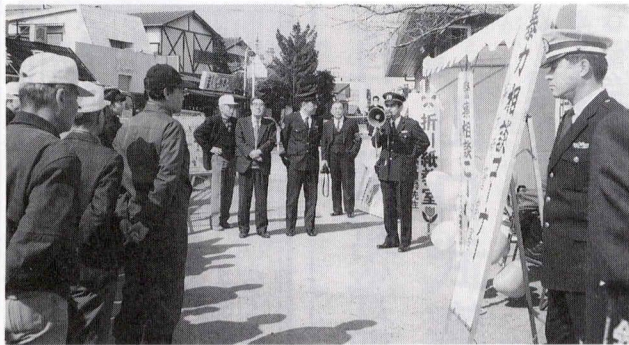
駅前臨時交番を開設

ご存知でしたか？ 毎月27日は「交番の日」です。という訳で2月27日、一時から香川駅前「香川臨時交番」が開設されました。最初に茅ヶ崎警察署の地域担当の方の挨拶、続いて香川自治会長そしていよいよ開始です。

テント張りの中には「警察相談コーナー」が設けられ、要望、相談に來られた方に、丁寧に応答してまいりました。手話通訳の方も待機しており、聴覚障害の方にも対応できるようになっていました。

このコーナーでは、「香川にも交番がほしい」という要望が多かったそうです。又隣には「折り紙コーナー」があり、子供達が楽しそうに折っていました。わからない所は指導の方が親切に教えていました。

ここでの人気物は、西久保駐在所のシェパード「ズインク君」と



開設された臨時交番



警察に相談する主婦

「ホルト君」のコンビの警察犬で体は大きいにおとなしくて、子供達はおそろおそろ頭をなでていました。

これらと同時に香川の役員の方達が二班に別れ、警察官を先頭に町内をパトロールしながら、パンフレットを配って、PRに一役買っていました。

帰ってきて警察の方から「女性の皆さん、気をつけて。」とお話がありました。香川でも「ちかん」

市営駐輪場を改修

香川駅附近の市営駐輪場が、この度改修された。

駅の北側の駐輪場は、地主さんに返すことになり、一月末で閉鎖になりました。

駅南側の駐輪場は、置いた所がはっきり分るように番号札が貼られ、きちんと整備されました。

これまでよりも場所が広くなり、約千三百台置くことができるようになりました。

ここが整備される前は、約200台の放置自転車や、バイク、ガスレ



改修された駐輪場

ンジ、ビン、缶など、燃えないゴミがたくさん捨てられていました。衛生委員の方たちが、何度もパトロールしては、きれいに片づけて下さいました。すが汚されてしまい、イタチごっこでした。

今回整備されたのを機会に、駐輪場を気持ちよく利用できるような各自が気をつけましょう。

清潔な明るい住みよい街づくりのために、マナーを守りましょう。

が発生していて、届出があっただけでも、昨年四月から九月迄で9件あり、届出のないもの推定すれば、その二、三倍位はあるのではないかといいことでした。

「もし、ちかんにあつたら相談という形でも良いので、警察に連絡(☎82-0110)してほしい。発生場所には警察官が行くので、制服姿を見せるだけでも、犯人に心理的圧力を加えられるので、是非皆様のご協力をお願いしたい。そして地域の皆様と一緒に、安全で安心して暮らせる街づくりを目指していきたい。」との事でした。

香川駅改札が自動化



自動化された改札

香川駅の改札が、2月13日から自動化された。今迄は自由にホームに入って、友人や乗客の見送りもできたけれども、これからは入場券をかうか、ホームに入らずに見送るようになる。

「おい!! 待ってくれ。」と叫んで、電車を待たせたのんびりした昔の風景も、今となっては懐かしい。

まだ自動化にできないために、うっかり荷物を改札口にはさまれたり、通せんぼになって困ったり、切符をまちがって買ってしまったり、交換するのに、また買い直しをしたりとか、とまどう人もみられた。

北部開発もどんどん進み、人口の増加がみこまれている現在、改札口の自動化は当然のことと思われる。はじめはとまどっても、やがて皆なれて、便利になった、都会的になったと思うことだろう。相模線の降車の際の押しボタン式も、早く解消されて、ふつうの電車なみになることが待たれる。

祈年祭 行われる

五穀の豊作を祈り、氏子崇敬者の方々の家内安全と幸福を祈る祈年祭が、2月17日(月)、午前10時から諏訪神社でおそかに行われました。

あいにく曇り空の寒い日だったので、例年より参加者は少なかったが、今年の平穩無事を祈って、式典を終了した。



五穀の豊作を祈って

生きこころのつば

「駄目を押す」

すでに十分であるのに、万一のことを考えて、さらに確かめてみることを「駄目を押す」といいますね。さて、これはいいかどうかから出たことばでしょうか？

(1)「目」ということばがあるから、サイコロかな。双六などからでた

のかしら？

(2)「馬偏だから競馬かな？」

(3)「もう勝ちとわかつているのに、ドンともうひと押しすることがあるから、相撲かな？」

(4)「囲碁から出たことばかな。」

さて、正解は、どれでしょう。

(正解)

囲碁からきたことばです。敵・味方のどちらにも属さない、共有の場所のことを「駄目」といいます。打っても、どちらの地もふえない共有の場所、つまり値打ちのない無駄な目です。ちょうど垣根の外側の共通の道路のようになっています。

戦いの終わりを合意して、おたがいが取った領地を数えあう時、どちらにも属さない共有の空間、つまり「駄目」があると、計算するのがまぎらわしい。そこでその「駄目」を石で埋めてゆきます。このことを、現在では「駄目をつめる」といいますが、古くは「駄目をさす」とか、「駄目を押す」といっていました。ここから「駄目を押す」といういいかたができたわけですね。

(囲碁から出たことば)

- (1)結局 「最後のところ」という意味。碁で局を結ぶということから、碁の終りをいみしている言葉。
 - (2)布石 将来のためにあらかじめ準備をすること。碁では戦に有利な骨組みをしてゆく過程をいいます。
 - (3)一目おく。 相手が自分より優れていることを認め、一歩ゆずった態度をとる事。実力の下の方が一歩先に置く。
- 他にも「局面打開」「終局」「定石」「序盤戦」「終盤戦」等多数あります。(山口仲美「生きていくことば」より)

第一町内会

2月16日(日) 9時30分より香川自治会館(2階和室)で、平成9年度組長会が開催され、雨という悪天候のなか、58組中44名の組長が出席されました。

議題

- 一、自治会役員、町内会役員紹介
- 一、平成9年度事業計画案の審議(可決)
- 一、組長の仕事についての説明
- 一、防災対策案の審議(可決)
- 一、その他

香川は、人口一万人、三千世帯のマンモス自治会で、第一町内会は640世帯(2月11日現在)です。特徴を上げれば、他地区からの転入者が多いことです。「隣は何をする人ぞ」の感は否めません。近所にどんな方が住んでいるのかわからない人も多いと考えられます。そんな町内の現状を考慮しながら、

第二町内会

平成9年度新組長会が2月16日に自治会館で開催されました。出席者は約75名で町内会長のあいさつから始まり、役員紹介、組長さんの仕事の説明、その他意見交換などを行いました。

- 一、特に重点課題としての防災対策については、左記の通り、地震はいつ起るか分らない為、対策は難しく各自の備えと隣近所との連係により被害を最小限に食い止めるのが最良の方策と思われるので左記のように心掛けておきましょうということです。
- 1. 各人が最低三分の水、食糧を確保して置く。
- 2. 貴重品、ラジオ、医薬品等を何時でも持ち出せる様にして置く。
- 3. 地震発生時は、まず自分の身を守る。

9年度活動のメイン・テーマである防災対策について審議されました。たたき台は、町内各界有志(P.T.A・子ども会・青少年推進協・民生委員・婦人会・生協・その他の役員)により、検討され、作成されたものです。

「災害に立ち向かおう!」

- (1) 個人事前対策(チェックリスト方式)
 - (2) 基本技術を身につける(消火器の操作、救急法、救命法)
 - (3) 隣り近所意識を強く持つ(19グループに分ける。その中でリーダーを選出する)
 - (4) グループの組織化(ゆっくりと立ち上げる)
 - (5) 街路消火器、防災用水の整備
 - (6) 防災器具、機材の拡充
 - (7) 災害対策本部は、第4青少年広場に開設する等です。
- 今後の活動が期待されます。

を守ること。(自分が罹災者にならないように)

- 4. 家族の身を守る。(子供等自身の守り方を教えておく)
- 5. 自分の家の火を消すこと。
- 6. 近隣で火災が発生した時は、消火を助ける。(自家に類焼する危険あり)
- 7. 家屋の倒壊等で、生き埋め等があった時は、救助する。
- 8. 自家が罹災した時は、香川小に避難すること。
- 9. 身体に異常をきたした時は、鶴が台中(臨時救急所)に行くこと。

第三町内会

第三町内会は、組長さんの仕事について、総務の川島さんから説明があった後、現在最も重要な災害対策について、配布した災害対策要綱のプリントによって、説明された。

「いざ」という時には、隣り近所の連係が大事なので、日頃から顔を見知って、おつきあいできるようにする。そのためには、町内を組単位でA/Fまで、6ブロックに分けて班編成をし、自治会の

熱心に説明を聞く組長さん



第四町内会

組長さんの力添えがあつて自治会が円滑に運営されますので、よろしくお願ひ致します。

第四町内の新組長会は、

- ・役員紹介
- ・組長さんの仕事の確認
- ・防災などの重点課題
- ・その他意見交換

新組長会議

平成9年度の新組長会議が、2月16日(日)、自治会館で午前と午後に分れて、開かれた。午前は2階が第1町内会、1階が第2町内会、午後は1階が第4町内会、2階が第3町内会だった。自治会役員の紹介から始まり、組長さんの仕事について説明がありました。会員の転入・転出の場合、自治会費徴収・返済、組内に不幸があった場合、防犯灯の故障等の場合、防災対策及び防災訓練についてなど語られた。

- 役員、委員等が班長になる。
- (1) 隣り近所が、緊密に連絡をとりあうようにして、連絡もれのないようにする。
- (2) 組長が不在の時は、前年度の組長が代行する。あらかじめ代行は誰になるかを明記する。
- (3) 6ブロックの町内地図と、災害対策編成表を合わせて、全員に周知させる。
- (4) 救急についても、町内で考えておく。

- (1) 防災

町内会災害対策要綱は、防災係担当の鈴木英四郎副会長が中心となって作られ、再三にわたる町内役員会で審議の結果、作成された。その要綱は次の通り。

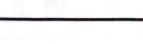
- 第一条 目的
- 災害全般に関し町内地域の連帯意識、相互互助により、住民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的とする。
- 第二条 組織及び機構
- 1. 災害対策委員会、同常任委員
- 2. 緊急連絡ネットワーク
- 3. 防災対策自治会本部(町内本部)
- 4. その他の会議
- グループ別会議等、自治会防災関係会議
- 第三条 委員の構成
- 町内役員、町内組長、町内役員会で承認された特別委員で構成
- 第四条 会議
- 1. 災害対策委員会
- 2. 災害対策常任委員会
- 3. その他の会議
- 第五条 災害対策の活動要綱
- 1. 災害予防関係
- (イ) 防災関係の行事に積極的に参加。防災思想の啓蒙活動強化
- (ロ) 各家庭内における安全確認の定期的な点検整備のよびかけ
- 消火器の配備、家具等の転倒防止のための固定器具の取り付け、防災非常持ち出し用品の備え付け
- (ハ) 町内在住の独り暮らしのお年寄り、身障者等、行動弱者の把握、救済対策
- 2. 町内住民の状況把握のため
- のアンケートの実施等
- 3. 災害発生時の緊急対応
- 災害対策本部を第一青少年広場内に設置し集合同所をA・Bグループは浄心寺境内、C・Fグループは第一青少年広場

平成7年度から第四町内の事情を活かして、防災の取組みの規約を制定致しましたが、機動力を上げるために、組長が核となって推進するように、自衛防災組織編成表を作成し、承認を頂きました。

基本的には大震災など緊急の場合は隣近所の助け合いを優先し、避難、連絡、救護、消火等は、町内の評議員を中心とした4ブロックに分け、各ブロックごとに組長で4班を編成し、行動するものとあります。

また、緊急の場合の行動を取りやすいようにマニュアルとしてまとめ、配布しましたので、目につく場所に掲示するなど、活用して頂きたい。

防災については、貴重な意見も頂きましたし、防災の重要性についても認識して頂いたものと考えます。規約については町内に合った形に見直しを図ってまいりますので、今後共ご意見を頂きたいと思ひます。



今月の歳時記

ひなまつり

三月三日は女の節句とされ、桃の節句ともいう。祝いは人形と紙やわらで作った素朴な人形に、自分にふりかかってくる災難を移して、海や川に流した祓いの行事と、平安時代に始まる人形遊びの二つの流れがあった。これは貴族社会のもので、紙



みごとな雛かざり

江戸時代の初めまでは、紙びなをひな屏風の前に二・三対、それに菱餅や白酒を供える程度の簡素なものであった。布製でくげの正装の姿を作ったのは元禄時代。都市で流行し、この人形を内裏びな、御所びな

などで作った人形に着物を着せていろいろな調度品と一緒に飾った。「ひな人形」ということばは、江戸時代後期に生れた。平安時代、貴族の子供たちが、ひな遊びに用いた人形に「ひいな」があったが、これが江戸期にまで伝えられたものだろう。室町時代にも、くげの間では、三月節句と関係なく、ひなとひな道具を若い婦人に贈る習慣があった。ひなの製作ははつきりしないが、はじめは紙びなであったといわれる。

といった。今日のようにひな壇を設け、いろいろな人形や調度品を飾ったのは、江戸時代の中頃からである。三月三日という日よりは、月の数と日の数を重ねて祝日とする中国の重日思想の影響であるが、日本では古くから三月の初めに農耕儀礼の上で、物忌をし、みそぎをして、けがれを払う習慣があった。その時に人形を作り、それにけがれを移して流したのが、ひな祭りの起こりといわれている。平安時代に作られた『源氏物語』

五目ずしを箱型にし、薄焼き卵で巻き、ミツ葉で結んだもの。きんとん。白インゲンで作る。鳥肉の串刺し。鳥肉を串に刺してつけ焼にする。右近の橋になぞらえたもの。お菓子、あられ、白酒、菱餅、草だんご、桜もちなど。

ボウリング大会

ふれあい委員会

ふれあい委員会は、地域のふれあいと親睦をはかるため、去る二月九日、寒川ボウリング場で、ボウリング大会を開催しました。参加申込は75名。当日はよい天気に恵まれ、香川駅に八時半に集合、マイクロバスで会場へ向いました。9時にゲームを開始、家族での参加が多く、場内はだんだんと熱気に包まれて、ストライクにガッツポーズをする人、拍手を送る人、うまいくみかず、残念な顔の人と様子はさまざまでしたが、ピンの倒れる音が快く響きわたる中、親子で和気あいあい、楽しんでる姿が印象的でした。二ゲーム、約一時間半楽しんだ後、表彰式を行いました。

また学校週五日制が定着しつつある今、地域と子ども達があつたうにふれあつて行くのが良いか。その一つの試みとして、毎月第二土曜日に第二青少年広場においてゲートボールを行っています。これは、ゲートボールA、Bチームのご好意により、今年十年目を迎えようとしています。是非一度のぞいて見て下さい。この他に年齢、学年の異なる子ども達も、同じ時間を共有することを通して、地域の中で子ども達を育てていこうと「子ども遊び教室」を開催しました。

このように、私達の活動は、虫が地をはうような遅々とした活動ですが、ゆっくりと試行錯誤しながらではあります。着実に進んで参りたいと思います。それには先ず地域の皆様、お一人お一人が推進協の存在を認識して頂ける環境作りを、積極的に行ってまいります。これからも推進協をよろしく願います。

香川小学校区 青少年育成推進協

会長 石田カツ子

日頃から青少年育成活動にご理解ご協力をいただきまして、ありがとうございます。香川小学校区青少年育成推進協議会(推進協)も、昭和五十三年に当地に産声をあげ、平成十年には二十年の節目を迎えるまでになりました。この間、諸先輩の方々のご努力、更に地域の皆様のご理解により、今日があるものと深く感謝しております。

推進協は、私どもの広報紙でもお知らせしていますように、香川小学校区内に住んでいる人全員が会員です。子ども達が健やかに成長し、育つために必要な活動を推進することを目的としています。活動の一環として環境浄化パトロールを行っています。風俗営業を目的としたステッカー及び、捨て板の撤去を行っています。これらは「イタチ」ごっこ感覚があまりありますが、根気よく行ってゆき、業者の看板のなくなる地域にしてゆけたらと思っております。

計報

平成9年 3月10日現在

高羽貞義様	84才	8年12月22日
第二町内会	49組	
折毛五郎様	71才	9年1月5日
第二町内会	51~1組	
西沢 熊様	78才	1月24日
第三町内会	9~2組	
新宅正雄様	66才	2月1日
第一町内会	24~1組	
曾根秀次様	66才	2月1日
第二町内会	16~1組	
秋山藤代様	86才	2月11日
第一町内会	24~1組	
萩原ふみ子様	71才	2月11日
第二町内会	6~2組	
山本と志様	79才	2月18日
第二町内会	2組	
青山辰男様	74才	3月9日
第三町内会	22~1組	

猫柳橋渡りくる人と牛

藤村球子 最近牛を畜力として利用される事はほとんどない。この牛も乳牛か食肉用の牛と思われるが、牛を連れて渡る田舎びた橋から猫柳の全貌が見えてくる。春灯男にもある泣きぼくろ

湯川章一

紅梅の濃さを暗しとみつけり 濃い紅梅を暗しと見た処が尋常でない。明るい華やかな物の裏に秘む美しさを見つけたことに面白さがある。

青山淳子

度忘れのもの探しある春灯下 耀きて雪解雫の絶間なく 屋根に積った雪が、ふりそそぐ陽光に解け出した景だが、眩

しく光る雪と、つぎつぎと解けたしたたる水滴のきらめきが鮮やかである。 初午や幟はためく屋敷神 宿 百合子

立春の田に降り佇ちし鶯の白

俳句

茅花会

平塚司郎選

白鷺が白いのは、もとよりだが、「立春の」と置かれると節分の翌日で、二月四日の頃の田はまだ何も始っていないし、寒々とした景の中、一羽降りたった鶯のいつとは違った白さが目

にささる。 片言の児に相槌やあたたかし 長島久江

蹟くや歩巾の中に落の臺 陽だまりの梅が香を背に道祖神 石田カツ子

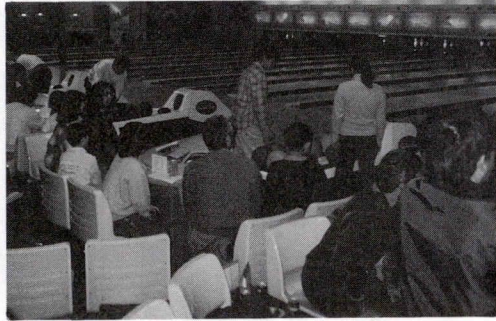
文庫本一冊置いて春炬燵 夕東風にあがらふ如くペダル踏む 田辺美津枝

観梅の帰路に問はるる梅の道 春めきて旅の話の多くなり 沓澤幸子

まんさくや年寄のふゆ山歩き 菜の花や久しく会はぬ友と会ふ

選者吟

桃活けて菓産の答をひろひけり 連絡先 長島久江 ☎六五二五



家族も揃って参加